

令和6年度 シンポジウム
大規模地震災害に備える
～能登半島地震被害の状況と課題～

写真提供:国土交通省九州地方整備局

2024年 **8月29日** (木) 12:30～16:45

会場:宮日会館ホール (実施方法:対面+オンライン)

会場定員:200名 オンライン定員:200名

参加費
無料

CPD
4ポイント

- 共同主催:(公社)地盤工学会九州支部、NPO法人グリーンイノベーション宮崎
- 共催:(一社)宮崎県地質調査業協会、宮崎大学農学工学総合研究科防災環境研究センター
- 後援:国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県県土整備部

今年1月1日に能登半島半島の深さ15kmを震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県輪島市および志賀町で震度7の揺れを観測し、能登半島北部を中心に北陸各県に甚大な被害をもたらしました。能登半島は山がちな地形で高齢化が進む地域であり、道路ネットワークが疎なエリアで道路被害が多発し、発災後の物資輸送やその後の被災地の復旧にその地形的、社会的な特徴が大きな影響を及ぼしています。

今回のシンポジウムでは、大規模地震対策をテーマに、2つの基調講演を行います。国土交通省の今田一典氏からは、「能登半島地震における被災状況や九州地方整備局の対応等」と題して、甚大な被害をもたらした能登半島地震における初動対応から復旧復興に向けた国土交通省の取り組みについて検証と今後の対応方針についてご講演いただきます。また、宮崎県の松山氏からは「宮崎県における国土強靱化の取組」と題して、地震災害をはじめ、宮崎県の大規模災害に対する取り組みについてご講演いただきます。

能登半島における地震被害の状況、被災地での復旧への取り組み、そして宮崎県が進める大規模災害への備えの現状を踏まえて、これから発生するであろう南海トラフ地震等にどのように備え、そして発災時にどのように対処していくのかについて考えるきっかけとなれば幸いです。多くの方のご参加をお待ちしております。

連絡先: NPO法人 **グリーンイノベーション宮崎 事務局**

宮崎市稗原町11番地1 (大和物産株式会社内) 電話 0985-29-5757 FAX 0985-27-7131

事務局: 児玉寛太郎 (090-3733-1473)

※裏面お申込み用紙をご利用下さい。

令和6年度 シンポジウム
大規模地震災害に備える
～能登半島地震被害の状況と課題～

第1部:シンポジウム

- 12:30～12:40 開会あいさつ 趣旨説明
- 12:40～13:40 基調講演1:能登半島地震における被災状況や九州地方整備局の対応等
講師:国土交通省九州地方整備局 統括防災官 今田 一典氏
- 13:40～14:40 基調講演2:宮崎県における国土強靱化の取組
講師:宮崎県県土整備部 次長 松山 英雄氏

第2部:グリーン・イノベーション宮崎会員による技術発表会

- 14:40～16:40 技術発表(6件)
1. 能登半島地震での耐震化管路施設の追跡調査報告…下水道既設管路耐震技術協会 中坪雄二氏
 2. フロートレス工法の原理と設計手法……………日本工営(株) 中谷浩平氏
 3. GEOTETS工法(土留部引技同時充填工法)……………GEOTETS研究会 中野洋平氏
 4. 法面表層安定工法としてのフォレストエコマット工法……………(有)エコプロ 清松秀生氏
 5. 鋳田籠で水循環の再生……………(一社)鋳田籠工法協会 松村憲吾氏
 6. ジオロックウォール工法(落石防護補強土壁)……………(株)プロテックエンジニアリング 森下俊光氏
- 16:40～16:45 閉会のあいさつ

意見交換会

シンポジウム終了後に意見交換会(会場:ふるさと料理杉の子 会費:6,000円 時間:18:30～)を開催します。会場の都合上、席に限りがあります(約40名)。意見交換会に参加希望の方は事前申し込みをお願いします。

住 所:宮崎市橋通西2丁目1-4 電 話:0985-22-5798

お問い合わせ先

E-mail送り先:kodama@e-daiwa.co.jp
携 帯 電 話:090-3733-1473^[大和物産(株)児玉]
お申込みURL:<https://x.gd/AaCio>

右記のQRコードから
申し込みページに
アクセスできます。



申込〆切日:8/22(木)